

敦賀市民間最終処分場 抜本対策工事の実施設計案（概要）

－浄化促進対策－

■ 浄化促進の目標

- ・ 浸出液が早期に排水基準以下となるよう、適切な対策を講じる

■ 浄化促進対策

- ・ 空気注入による浄化促進
- ・ 水注入による浄化促進

■ 処分場内の状況

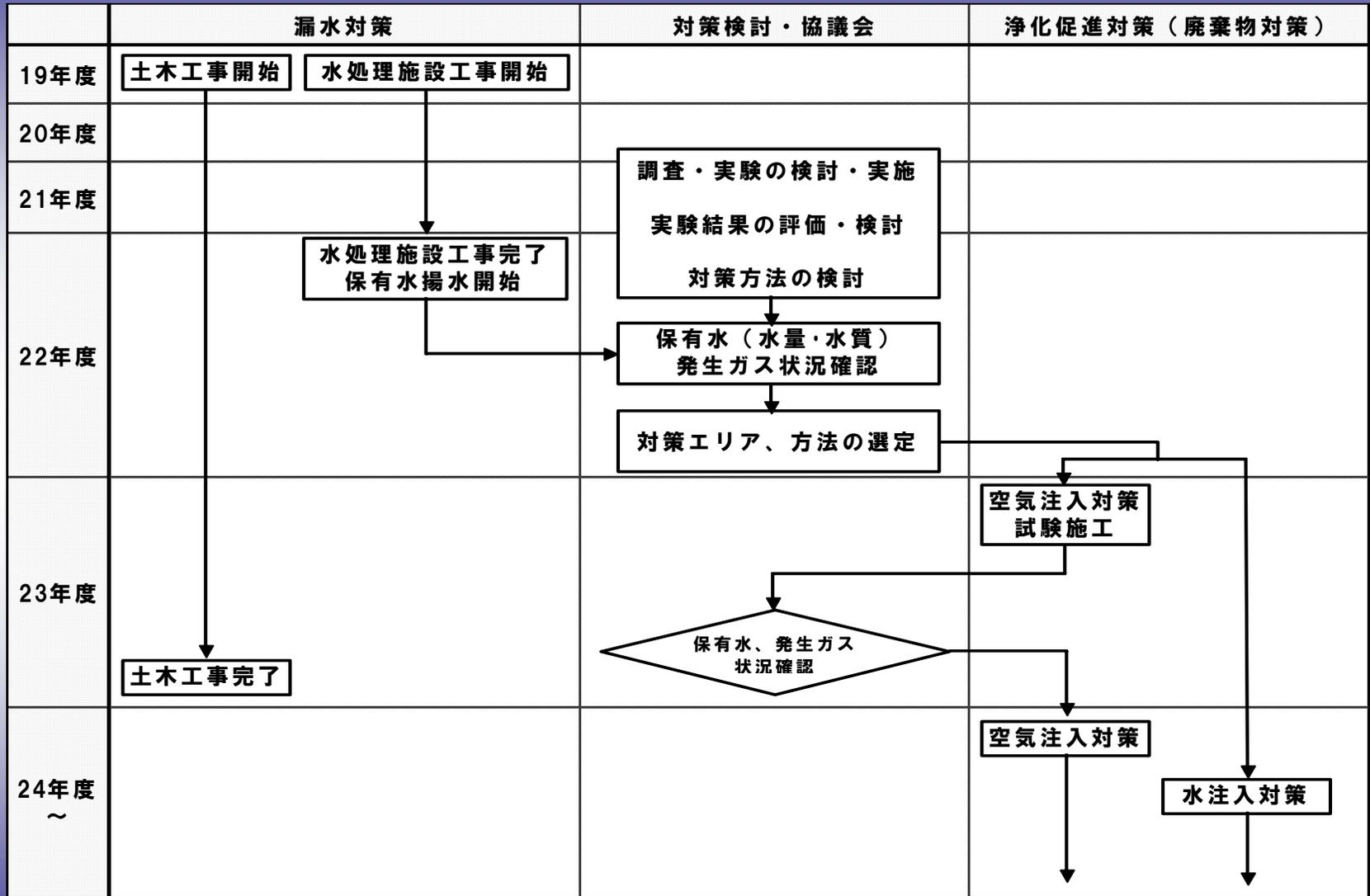
- ・ 処分場内部には、18万 m^3 の保有水が貯留していると考えられており、まず水位を下げる必要がある
- ・ 遮水壁、キャッピングの設置や保有水の揚水により地下水環境が変化

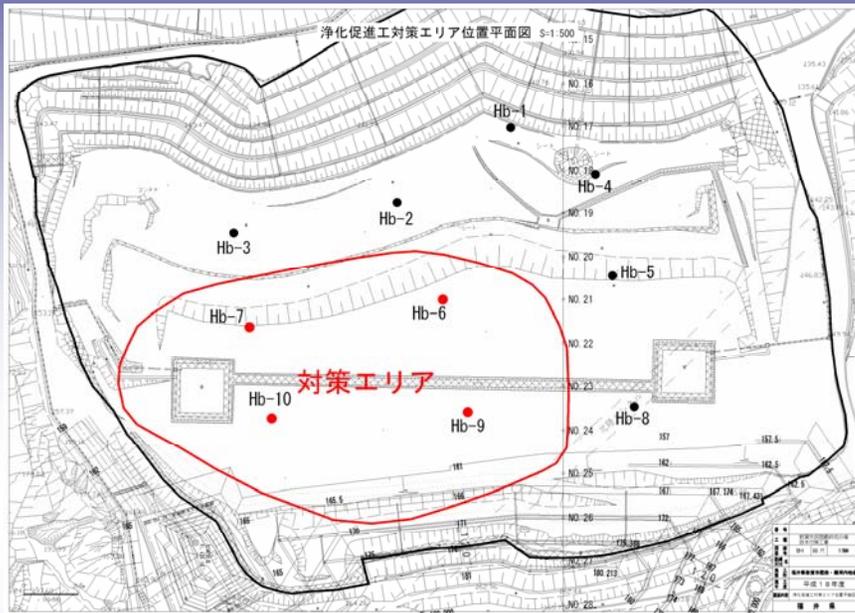
■ 浄化促進対策の段階的实施

- ① 漏水対策工事中・・・室内試験および検討
- ② 保有水位低下中・・・試験施工および検討
- ③ 保有水位低下後・・・本格対策実施

⑨-2 浄化促進

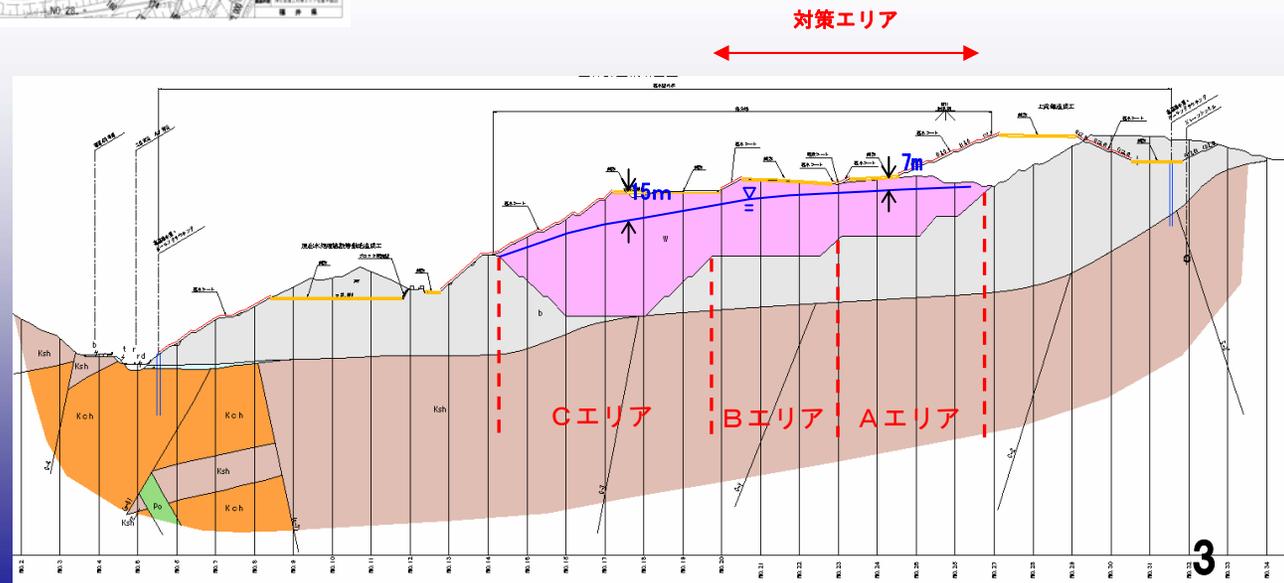
実施設計の概要





■対象範囲

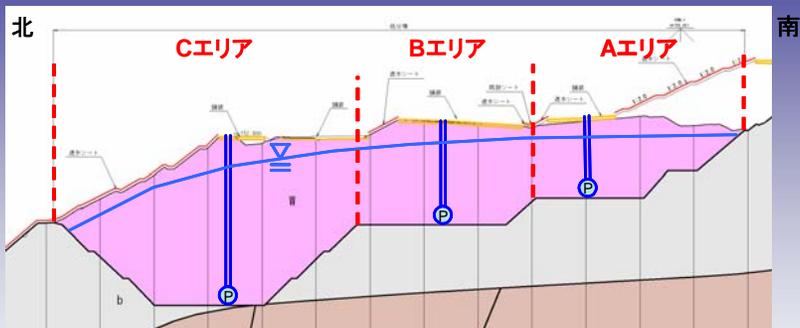
- 保有水に大きな影響を与えている物質として BODとT-Nが挙げられる
- BODはHb-4,6,7,9で排水基準を超過
- T-NはHb-4,6,7,8,9で排水基準を超過
- 対策範囲をHb-6,7,9,10周辺とする



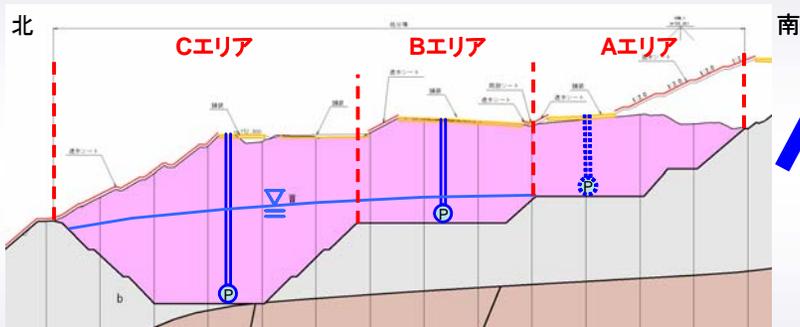
⑨-4 浄化促進

保有水揚水段階

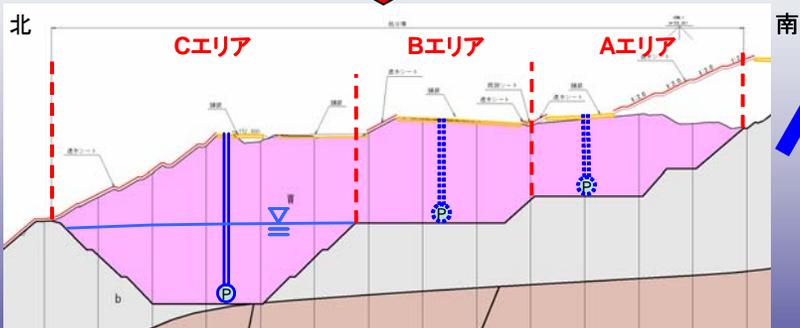
① 揚水開始段階



② Aエリア揚水完了段階



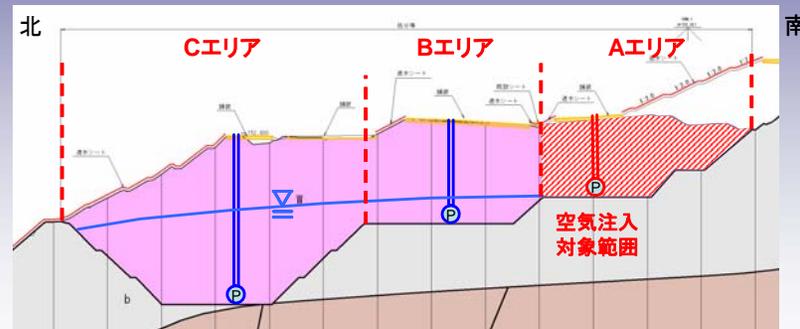
③ Bエリア揚水完了段階



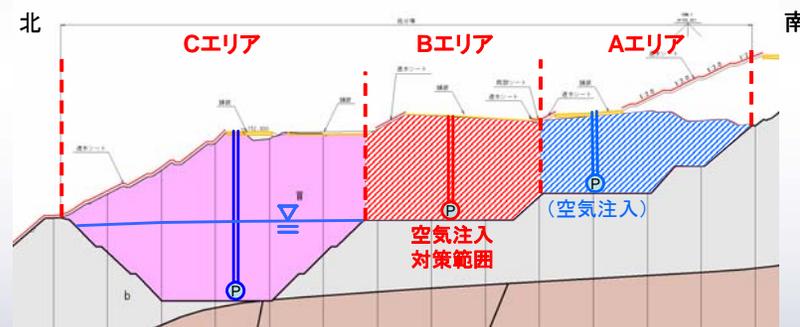
揚水完了

浄化促進対策計画

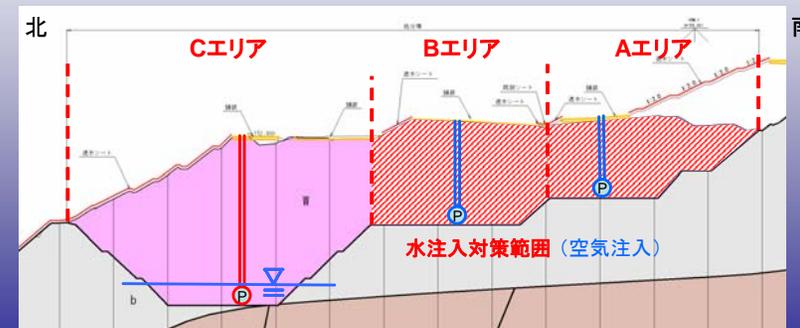
① 空気注入対策 (A)



② 空気注入対策 (B)

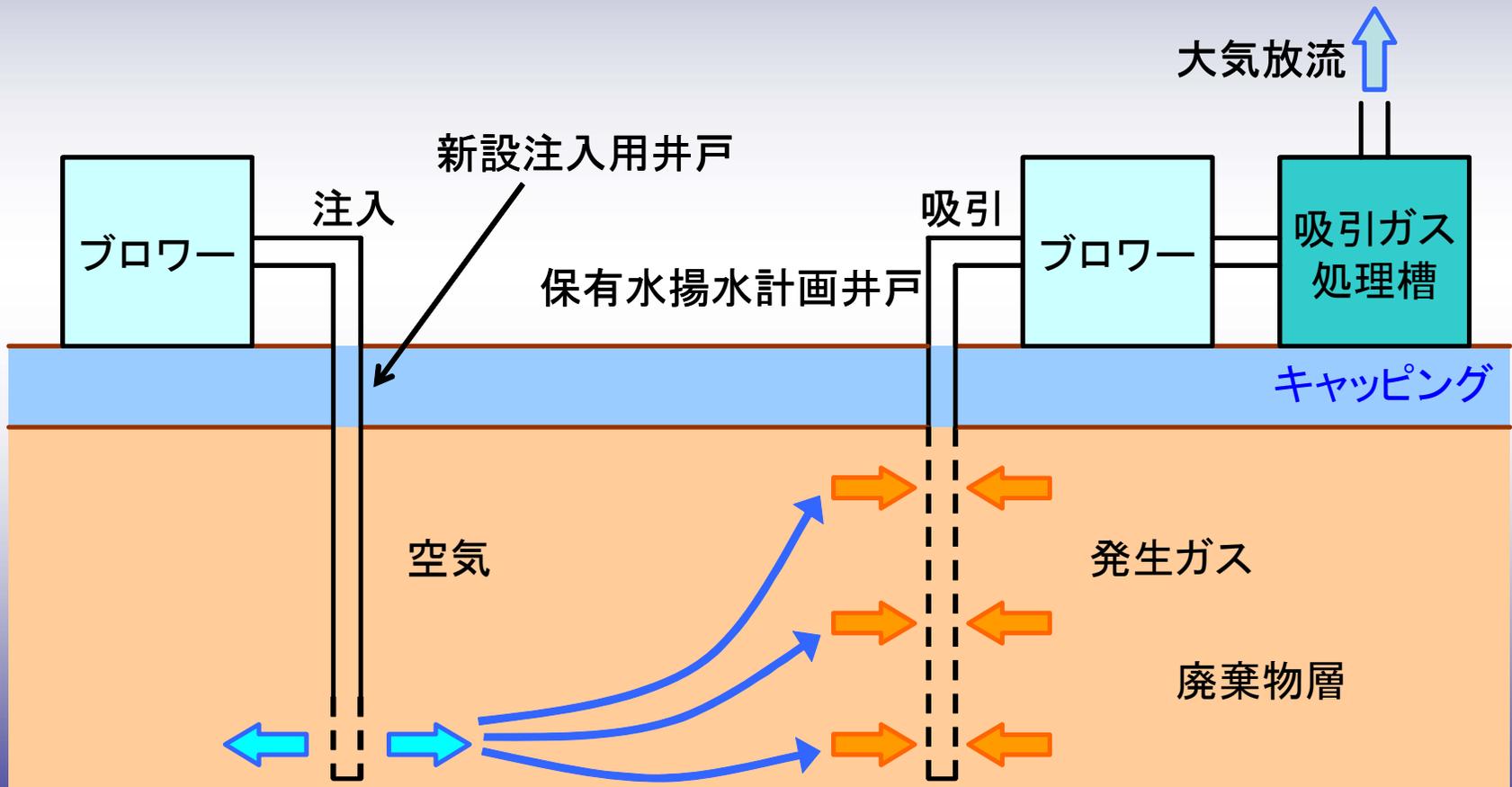


③ 水注入対策



■ 空気注入

空気吸引井戸および空気注入井戸を設置し空気を圧入・吸引する。
なお、吸引井戸は揚水井戸の頭部を密封し活用する。



■水注入

- ・ キャッピングを一部撤去し雨水の浸透を行う。
- ・ 注入量は、 $80\text{m}^3/\text{日}$ を設定。（当初は約6割程度で実施）

